

EU Indicators

欧州経済指標コメント：9月ドイツ製造業受注

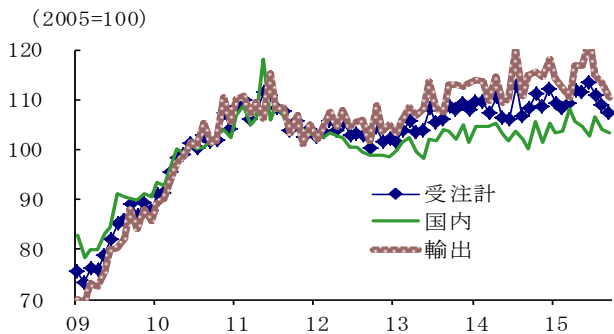
発表日：2015年11月5日(木)

～新たな不安～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

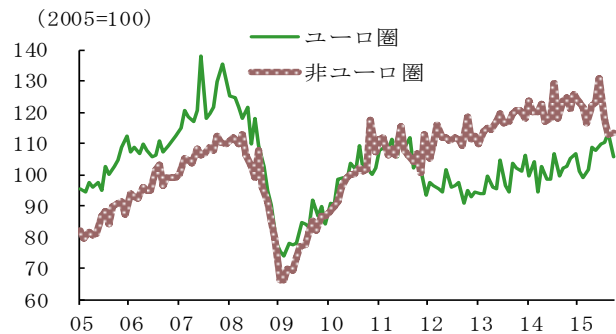
- 9月のドイツの製造業受注は前月比▲1.7%。夏季休暇の関係で前月値が下振れしていたとされるが、今月は反発するどころか、3ヶ月連続の落ち込みを記録した。過去3ヶ月の通算の下落率は▲5.6%。同規模の下落率は、中核国への債務危機の波及が懸念された2011年の夏場以来。
- 内外受注の内訳は、国内受注（前々月：同+3.7%→前月：同▲2.4%→今月：同▲0.6%）が2ヵ月連続で、輸出受注（同▲6.1%→同▲1.4%→同▲2.4%）が3ヵ月連続で落ち込んだ。輸出受注の内訳は、過去2ヶ月に続落していた非ユーロ圏（同▲10.1%→同▲4.1%→同+0.7%）が僅かに持ち直した一方、これまで持ち堪えていたユーロ圏（同+0.6%→同+2.5%→同▲6.7%）が大きく落ち込んだ。輸出受注で財種別に落ち込みが大きいのは資本財（同▲7.9%→同▲1.2%→同▲4.4%）と耐久消費財（同+6.3%→同+1.1%→同▲6.4%）、品目別に落ち込みが目立つのは繊維（同▲0.9%→同+5.1%→同▲8.2%）、木材（同+7.2%→同+1.8%→同▲6.2%）、一般機械（同+1.8%→同+4.7%→同▲3.8%）、輸送機械（同▲11.3%→同▲9.5%→同▲0.2%）。
- 中国経済への過度な不安が後退し、ドイツの企業景況感が全般に底堅く推移するなど、ドイツの景気減速不安も杞憂に終わるとの期待も広がっていた。だが、今回の受注統計が奮わなかったことに加え、大手自動車会社による新たな不正問題が発覚するなど、ドイツ企業を取り巻く環境は引き続き不透明。

■ドイツ：製造業新規受注（季調値）



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツ：製造業輸出受注（季調値）



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの製造業受注（季節調整値、実質、前期<月>比、%）

	2014				2015								
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
製造業受注計	1.3	-1.5	3.0	-2.8	-0.9	1.0	2.2	-0.4	1.9	-2.2	-1.8	-1.7	
資本財	1.2	-1.7	4.4	-3.5	-1.4	1.4	3.5	-1.2	3.6	-2.5	-2.9	-2.9	
資本財（除くその他輸送機械）	2.8	-1.8	4.2	-4.7	-1.6	-3.1	5.7	2.5	-1.2	-1.1	-4.7	-1.5	
中間財	1.5	-1.5	0.7	-1.5	-0.8	1.0	-0.3	1.1	-0.5	-1.4	-0.5	0.4	
消費財	0.9	0.7	3.2	-4.1	2.9	-1.9	3.8	0.2	-1.0	-2.8	-0.9	-0.4	
耐久消費財	2.5	1.7	-1.1	2.9	0.3	-2.6	0.5	1.1	-2.0	6.3	0.2	-7.2	
非耐久消費財	0.4	0.3	4.6	-6.2	3.7	-1.7	4.9	-0.2	-0.6	-5.6	-1.3	2.1	
国内受注計	2.1	1.0	-0.6	0.2	0.1	4.4	-2.3	-0.9	-1.9	3.7	-2.4	-0.6	
輸出受注計	0.8	-3.2	5.7	-5.0	-1.7	-1.5	5.7	0.1	4.5	-6.1	-1.4	-2.4	

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。